

主評価項目の介入前後の比較

階層別の尿検査による推定一日食塩摂取量の介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後（最終調査時）の推移を図1に示す。

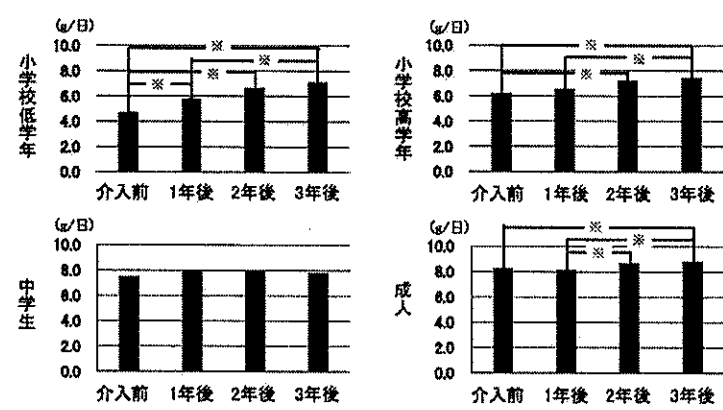
小学校低学年群では、介入開始1年後、2年後、3年後の値は介入開始前の値より有意に高かった。また、介入開始3年後の値は介入開始1年後の値より有意に高かった。

小学校高学年群では、介入開始2年後、3年後の値は介入開始前の値より有意に高かった。また、介入開始3年後の値は介入開始1年後の値より有意に高かった。

中学生群では、介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後の値に有意差はなかった。

成人群では、介入開始4年後の値は介入開始前、介入開始1年後の値より有意に高かった。また、介入開始2年後の値は介入開始1年後の値より有意に高かった。

(図1) 尿検査による推定一日食塩摂取量の推移

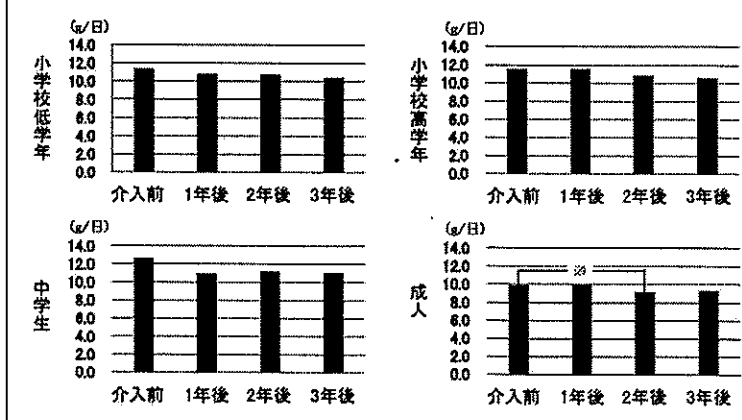


階層別のBDHQによる推定一日食塩摂取量の介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後（最終調査時）の推移を図2に示す。

小学校低学年群、高学年群、中学生群では、介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後の値に有意差はなかった。

成人群では、介入開始2年後の値は介入開始前の値より有意に低かった。

(図2) BDHQによる推定一日食塩摂取量の推移



収縮期血圧および拡張期血圧の介入前後の比較

階層別の収縮期および拡張期血圧の、介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後（最終調査時）の推移を図3に示す。

小学校低学年群では、介入開始前、介入開始1年後、2年後、3年後の収縮期血圧に有意差はなかった。また、介入開始1年後および2年後の拡張期血圧は介入開始前より有意に高かった。

小学校高学年群では、介入開始1年後および2年後の収縮期血圧は介入開始前および3年後より有意に低かった。また、介入開始1年後の拡張期血圧は介入開始前より有意に高かった。

成人群では、介入開始2年後、3年後の収縮期血圧は介入開始前より有意に高かった。また、介入開始4年後の拡張期血圧は介入開始前より有意に高かった。

